2-177-407-**05** (1)

AVセレクター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SB-RX300D/RX200S/RX100P

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

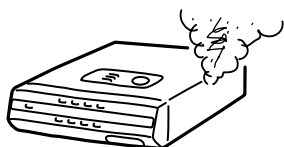
定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、など点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体やACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙りが出たら

❶ 本体の電源をスタンバイにする

❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電、破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

⚠警告・⚠注意 4
使用上のご注意 6
必ずお読みください 7
主な特長 7
各部のなまえとはたらき 8

接続と準備

付属品を確かめる 12
接続する前に 12
手順1：接続する 13
　ループプロテクションの使いかた ... 16
手順2：電源をつなぐ 17
手順3：リモコンを準備する 17
　リモコンに電池を入れる 17
　付属のラベルを使う 17

操作

使う機器を選ぶ 18
　リモコンで操作する 18
1つの信号を3台に同時出力する
（マルチ出力） 19
2つの信号を別々に同時出力する
（パラレル出力） 20

本機を複数台使う

本機を複数台で使う前に 21
　複数台使用時の接続構成 21
本機どうしをつなぐ 22
　システムコントロールケーブルの
　つなぎかた 23
　モード設定 24
　複数台使用時の
　ループプロテクション 25
使用台数ごとの接続構成 26
　本機を2台使う場合 26
　本機を3台使う場合 28
　本機を4台使う場合 30
　本機を5台使う場合 32
こんな使いかたもできます 33

その他

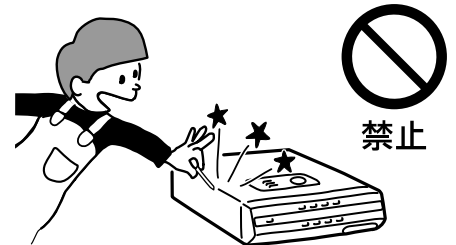
故障かな？と思ったら 34
保証書とアフターサービス 37
主な仕様 37

この取扱説明書では、3つの機種（SB-RX300D、SB-RX200SおよびSB-RX100P）について説明しています。操作説明で使っているイラストは、SB-RX200Sです。

火災
感電

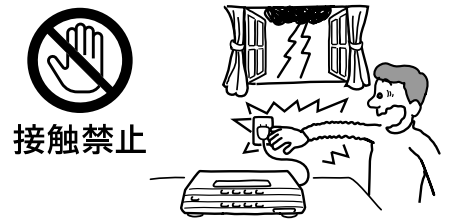
下記の注意を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源をスタンバイにし、本体はACパワーアダプターをコンセントから抜き、リモコンは乾電池を取り出し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体やACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。

接触禁止
国内専用機は海外で使わない。付属品以外のACパワーアダプターを使わない

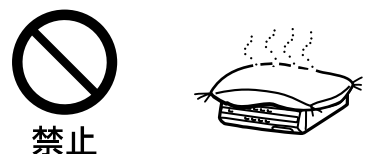
- ワールドモデル以外のACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。またコンセントの定格を超えて使用しないでください。
- 過熱などにより、火災、けがや周囲の破損の原因となります。

指示
ぬれた手でACパワーアダプターや本体にさわらない

感電の原因になることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

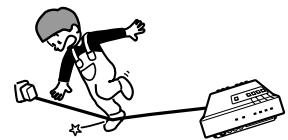
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因になることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると製品の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険　乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

使用上のご注意

- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音や画像の乱れの原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- テレビの上にAVセレクターを置いて使うと、テレビからの電磁波による雑音が音声に混じってしまうことがありますが、接続コードのひきまわしを変えると直ります。もし直らないときは、置き場所を変えてください。

本体表面の取り扱いについて

本体表面が汚れたときは、乾いた布で軽く拭きとってください。汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤を布に含ませて拭きとってから、乾ぶきします。化学ぞうきんを使うときは、その注意書きにしたがってください。

また、以下のことに気をつけてください。本体表面が変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

- アルコール、シンナー、ベンジンは使わないでください。
- 殺虫剤やヘアスプレーをかけないでください。
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機を使用中、万一不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

著作権保護のための信号が録画されている映像は録画できません。あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録画防止機能について

ご視聴になる放送番組やソフトによっては、コピー防止機能がついているものがあります。そのような番組やソフトは録画できない場合がありますので、ご注意ください。

主な特長

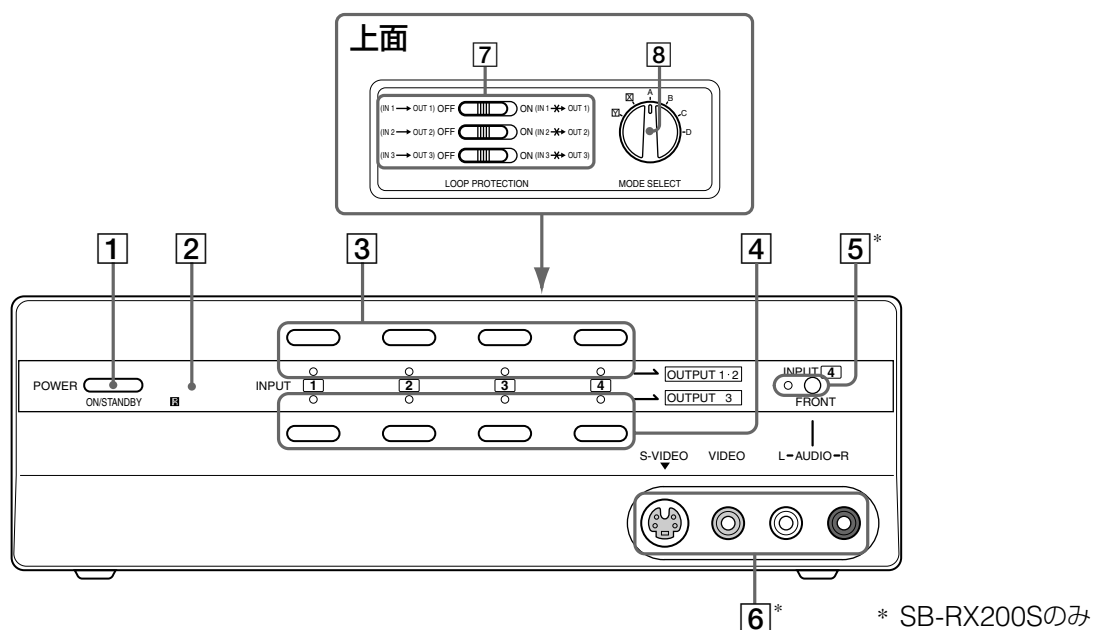
本機は、入力4系統、出力3系統のAVセレクターです。本機を増設し、複数台をつないで使用することもできます（最大5台、または16入力まで増設可能）。詳しくは、☞21ページをご覧ください。

- 1つの機器の入力信号を、複数の機器に同時に出力できるマルチ出力機能。
- 2つの機器の入力信号を、それぞれ別の機器に同時に出力できるパラレル出力機能。
- 信号のループを抑止するループプロテクション機能。
- 付属のリモコンで、入出力を簡単切り換え。（複数台使用時も、最大16入力までを1つのリモコンでダイレクトに切り換え可能）（☞18ページ）
- 選んでいる入出力機器を一目で確認できる、前面インジケーター付き。
- 幅を取らないハーフコンポーネントサイズ（幅21.5 cm）
- 4系統4入力
  SB-RX200Sのみ：5系統4入力（INPUT4（入力4）は、前面／後面切り換え）
- 3系統3出力（OUTPUT1・2（出力1・2）は、同一信号）
- 入出力端子
  SB-RX300D：D端子、音声L/R端子
  （D端子は、D1～D4対応）
  SB-RX200S：S映像、映像、音声L/R端子
  （S映像端子は、S1/S2を自動検出）
  （YC分離・合成なし）
  SB-RX100P：光角型デジタル端子

各部のなまえとはたらき

本体

前面

＊ SB-RX200Sのみ

1 **POWER ON/STANDBY（電源 入／スタンバイ）ボタン**
本機の電源の入／スタンバイを切り換えます。
　電源入：ランプが緑に点灯します。
　電源スタンバイ：ランプが赤く点灯します。

2 **リモコン受光部**

3 **OUTPUT1・2用入力切り換えボタン／ランプ**
OUTPUT1・2端子に出力する信号を、INPUT1～4ボタンで選びます。（☞18～20ページ）
ランプ点灯中の入力が選ばれています。

4 **OUTPUT3用入力切り換えボタン／ランプ**
OUTPUT3端子に出力する信号を、INPUT1～4ボタンで選びます。（☞19～20ページ）
ランプ点灯中の入力が選ばれています。

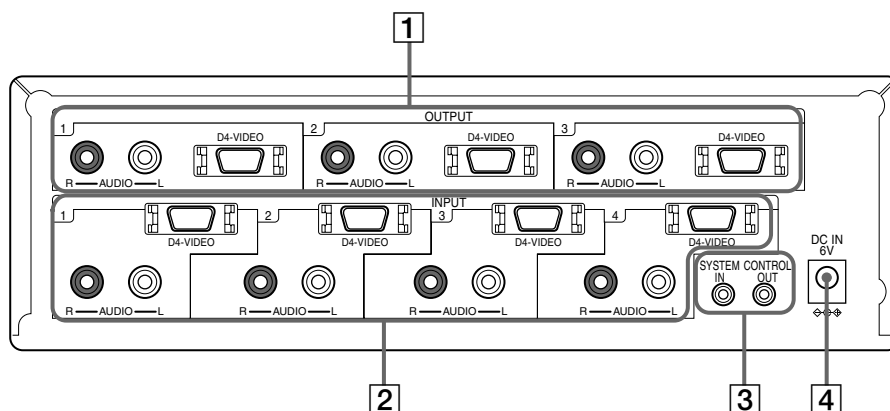
5 **INPUT4FRONT（前面端子切り換え）ボタン／ランプ（SB-RX200Sのみ）**
前面と後面のINPUT4端子のうち、どちらにつないだ機器を使うかを切り換えます。
このランプの点灯中は、前面端子が使えます。

6 **INPUT4（入力4）端子（SB-RX200Sのみ）**
　S-VIDEO（S映像）端子
　VIDEO（映像）端子
　AUDIO-L（音声-左）端子
　AUDIO-R（音声-右）端子
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。（☞14ページ）

7 **LOOP PROTECTION（ループ防止）スイッチ**
入出力信号のループを防ぎます。LOOP PROTECTIONスイッチは、OUTPUT1～3端子ごとにON/OFFを切り換えることができます。
お買い上げ時は、すべてOFFになっています。（☞16、25ページ）

8 **MODE SELECT（モード選択）ダイヤル**
本機を複数台つないで使用するときにモードを選びます。お買い上げ時は、モードAになっています。（☞22、24ページ）

後面

SB-RX300D

1 OUTPUT1～3（出力1～3）端子

D端子

AUDIO-L（音声-左）端子

AUDIO-R（音声-右）端子

2 INPUT1～4（入力1～4）端子

D端子

AUDIO-L（音声-左）端子

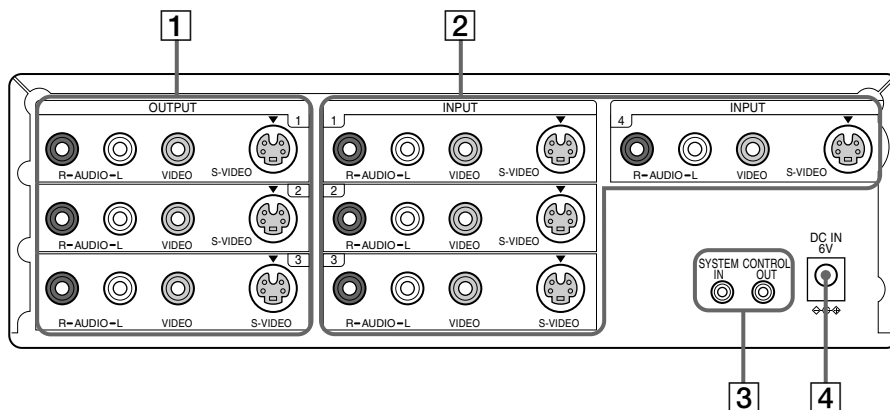
AUDIO-R（音声-右）端子

3 SYSTEM CONTROL IN/OUT（システムコントロール入出力）端子

本機を複数台つないで使用するときに使います。（☞22、23ページ）

4 DC IN 6V（電源入力端子）

付属のACパワーアダプターをつなぎます。

SB-RX200S

1 OUTPUT1～3（出力1～3）端子

S-VIDEO（S映像）端子

VIDEO（映像）端子

AUDIO-L（音声-左）端子

AUDIO-R（音声-右）端子

2 INPUT1～4（入力1～4）端子

S-VIDEO（S映像）端子

VIDEO（映像）端子

AUDIO-L（音声-左）端子

AUDIO-R（音声-右）端子

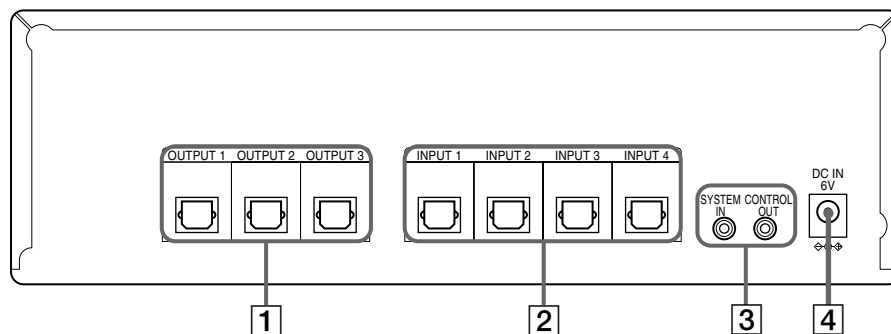
3 SYSTEM CONTROL IN/OUT（システムコントロール入出力）端子

本機を複数台つないで使用するときに使います。（☞22、23ページ）

4 DC IN 6V（電源入力端子）

付属のACパワーアダプターをつなぎます。

次ページにつづく

SB-RX100P

1 OUTPUT1〜3（出力1〜3）端子

光角型デジタル端子

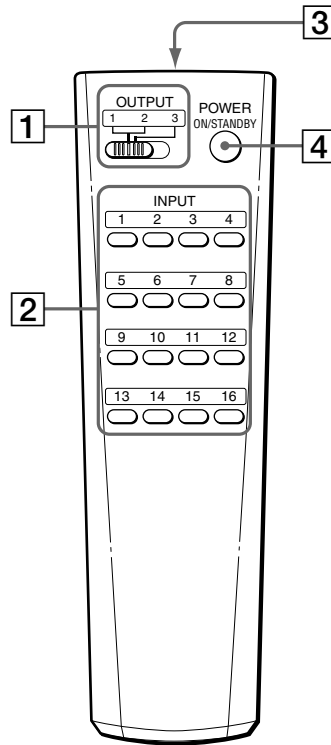
2 INPUT1〜4（入力1〜4）端子

光角型デジタル端子

3 SYSTEM CONTROL IN/OUT（システムコントロール入出力）端子

本機を複数台つないで使用するときに使います。（☞22、23ページ）

4 DC IN 6V（電源入力端子）

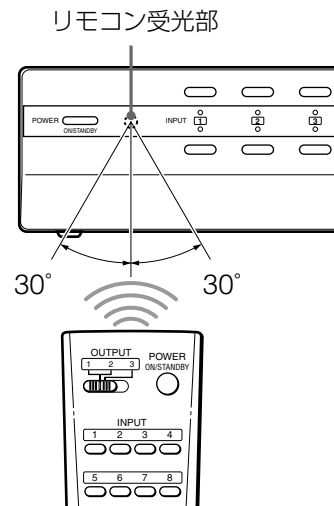
付属のACパワーアダプターをつなぎます。

リモコン

1 OUTPUT1・2/OUTPUT3（出力1・2／出力3切り換え）スイッチ
出力を選びたい端子の方へ切り換えます。
(☞18ページ)
左：OUTPUT1・2
右：OUTPUT3

2 INPUT1〜16（入力1〜16切り換え）ボタン
OUTPUT1・2/OUTPUT3スイッチで選んでいる端子へ出力する信号を選びます。(☞18ページ)
本機を複数台つないで使用する場合は、最大16入力から直接選ぶことができます。

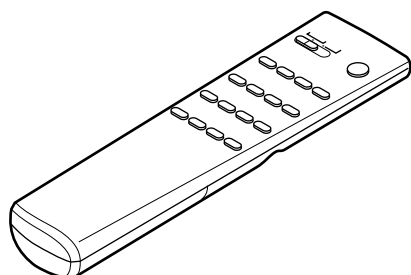
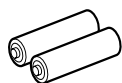
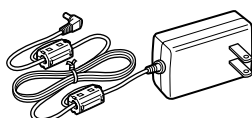
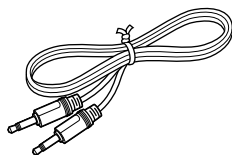
3 リモコン発光部

4 POWER ON/STANDBY（電源 入／スタンバイ）ボタン
本機の電源の入／スタンバイを切り換えます。

リモコンを使うときは

- リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作します。
- 約30°以内の範囲で操作してください。

付属品を確かめる

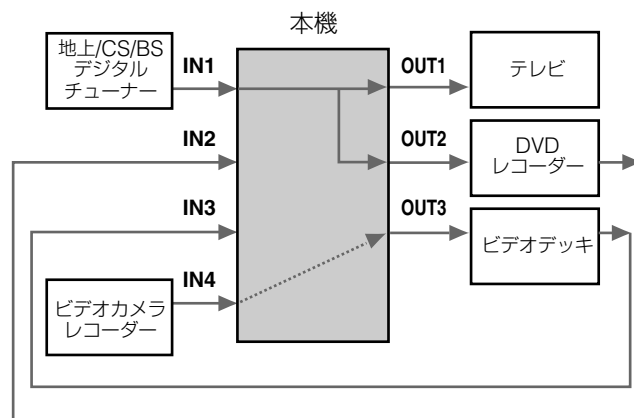
箱を開けたら、付属品がそろっているかをお確かめください。

リモコン（1個） RM-SBRX1

単3形乾電池（2本、リモコン動作確認用）

ACパワーアダプター（1個）

システムコントロールケーブル（1本）

取扱説明書（1部、本書）
ラベル（1シート、接続機器表示用）
ソニーご相談窓口のご案内（1部）
保証書（1部）

接続する前に

本機を正しくご使用いただくために、お手持ちの機器を本機に接続する前にお読みください。

OUTPUT1・2端子とOUTPUT3端子について

本機のOUTPUT1端子とOUTPUT2端子からは、同一の信号が出力されます。
例えば、下の図のようにOUTPUT1端子にテレビを、OUTPUT2端子にDVDレコーダーをつなぎ、入力としてINPUT[1]を選ぶと、デジタルチューナーの映像を録画しながらその内容をテレビで見ることができます。

OUTPUT3端子は、OUTPUT1・2端子とは関係なく独立して入力信号を選べます。

電源について

- 本機とつなぐ機器の電源をOFFにして、電源コードを抜いてください。すべての機器の接続が終わってから、それぞれの機器の電源コードをコンセントにつなぎます。
- 接続先の機器の取扱説明書もよくお読みください。

手順1：接続する

はじめに、別売りの音声・映像コードまたはケーブルでお持ちの機器と本機をつなぎます。

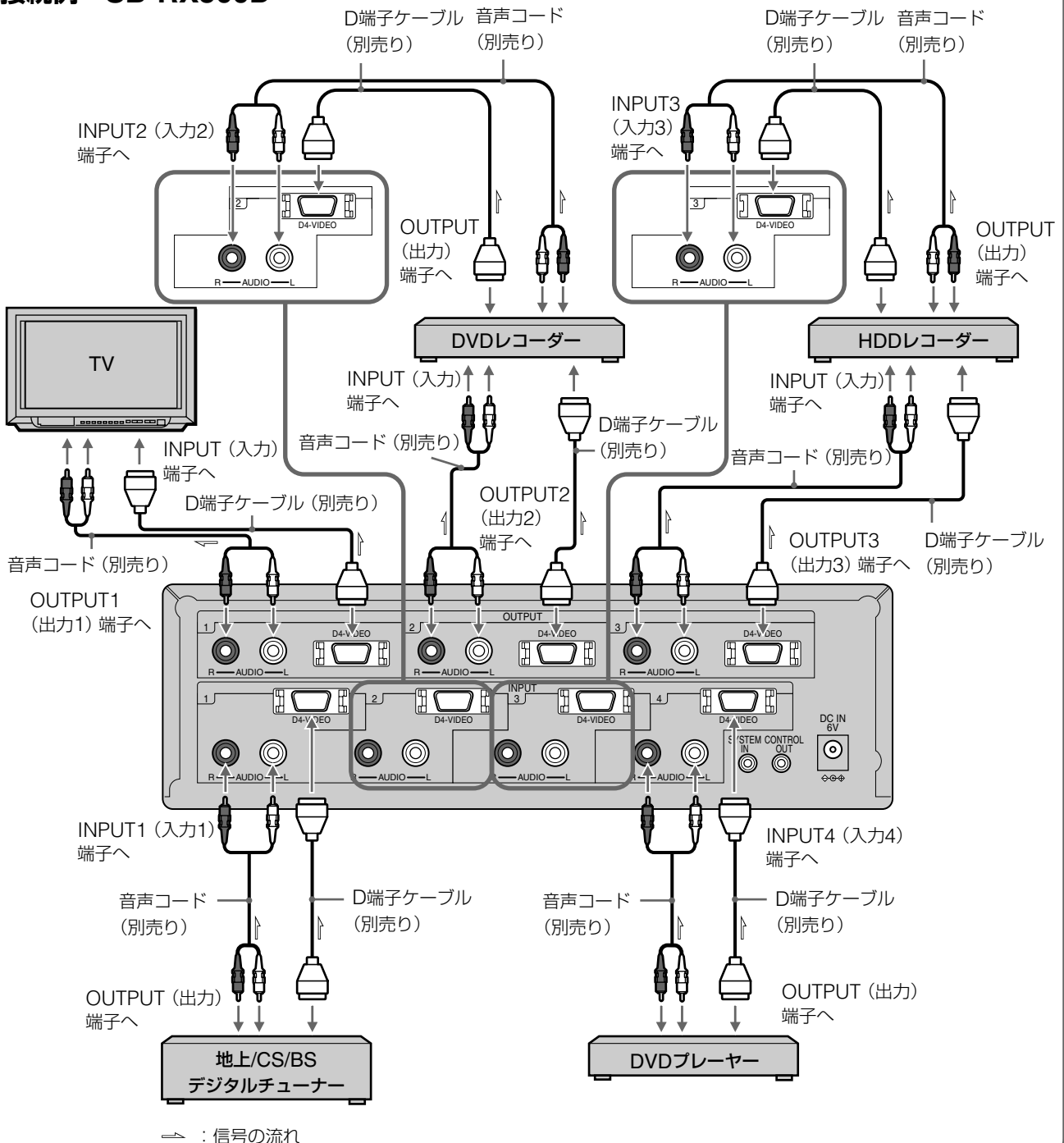
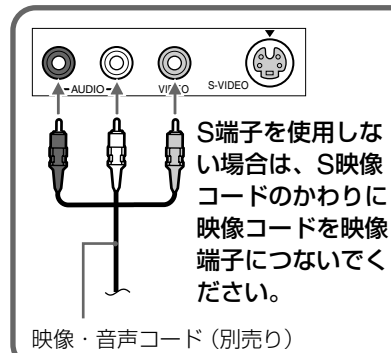
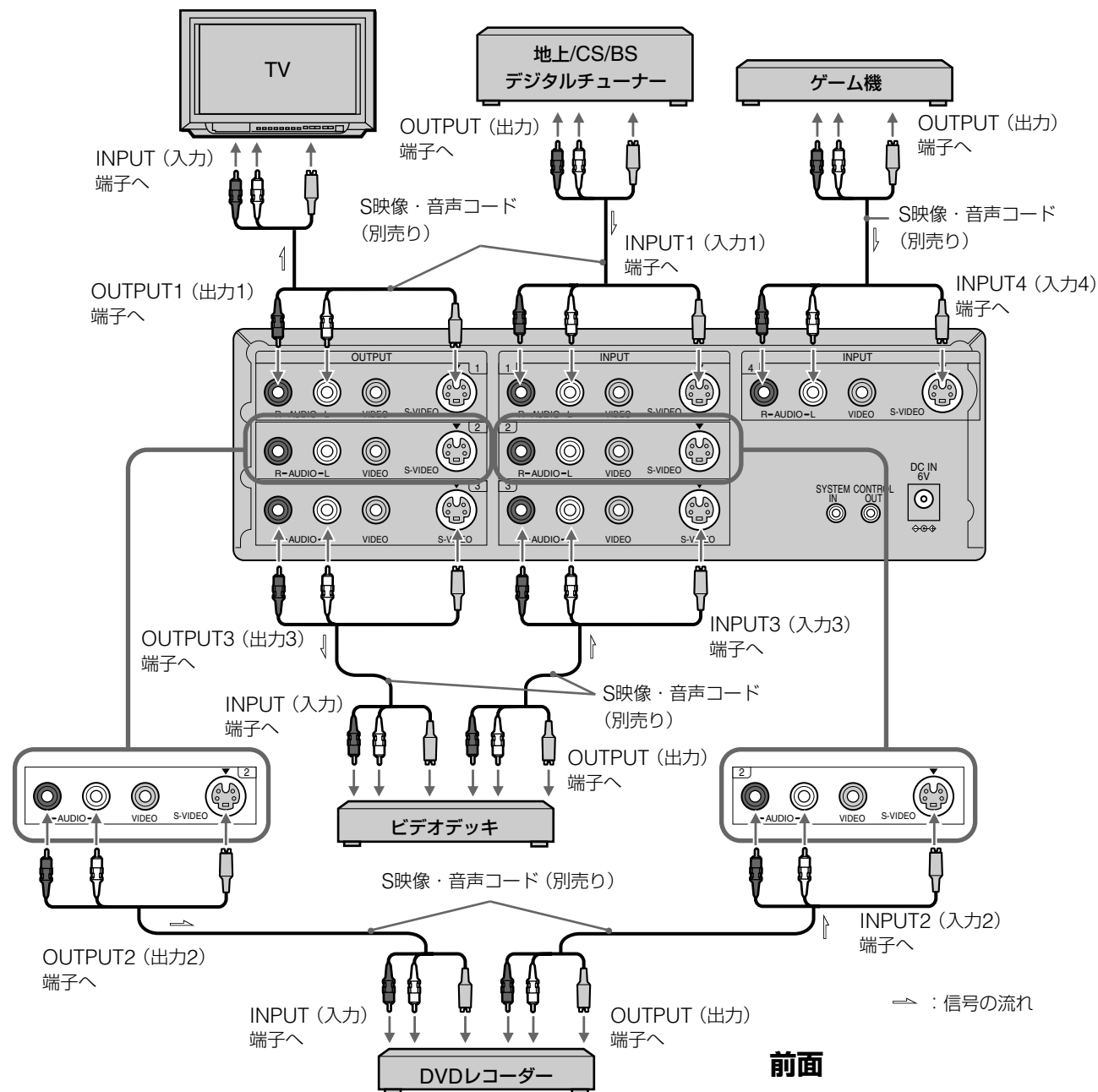
本機に録画用機器をつなぐときは

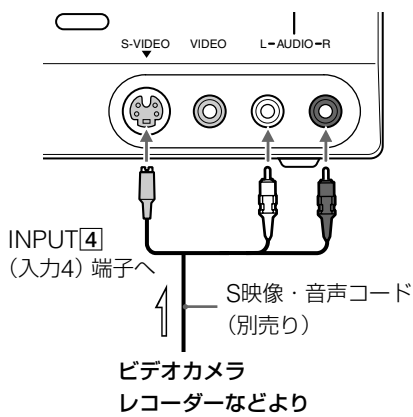
通常はINPUTとOUTPUTが同じ端子番号になるようにつなぎ、LOOP PROTECTIONスイッチをONにしてください。（☞16ページ）

本機を1台で使用するときは（通常使用）

MODE SELECTダイヤルをモードAに設定してください。お買い上げ時は、Aに設定されています。

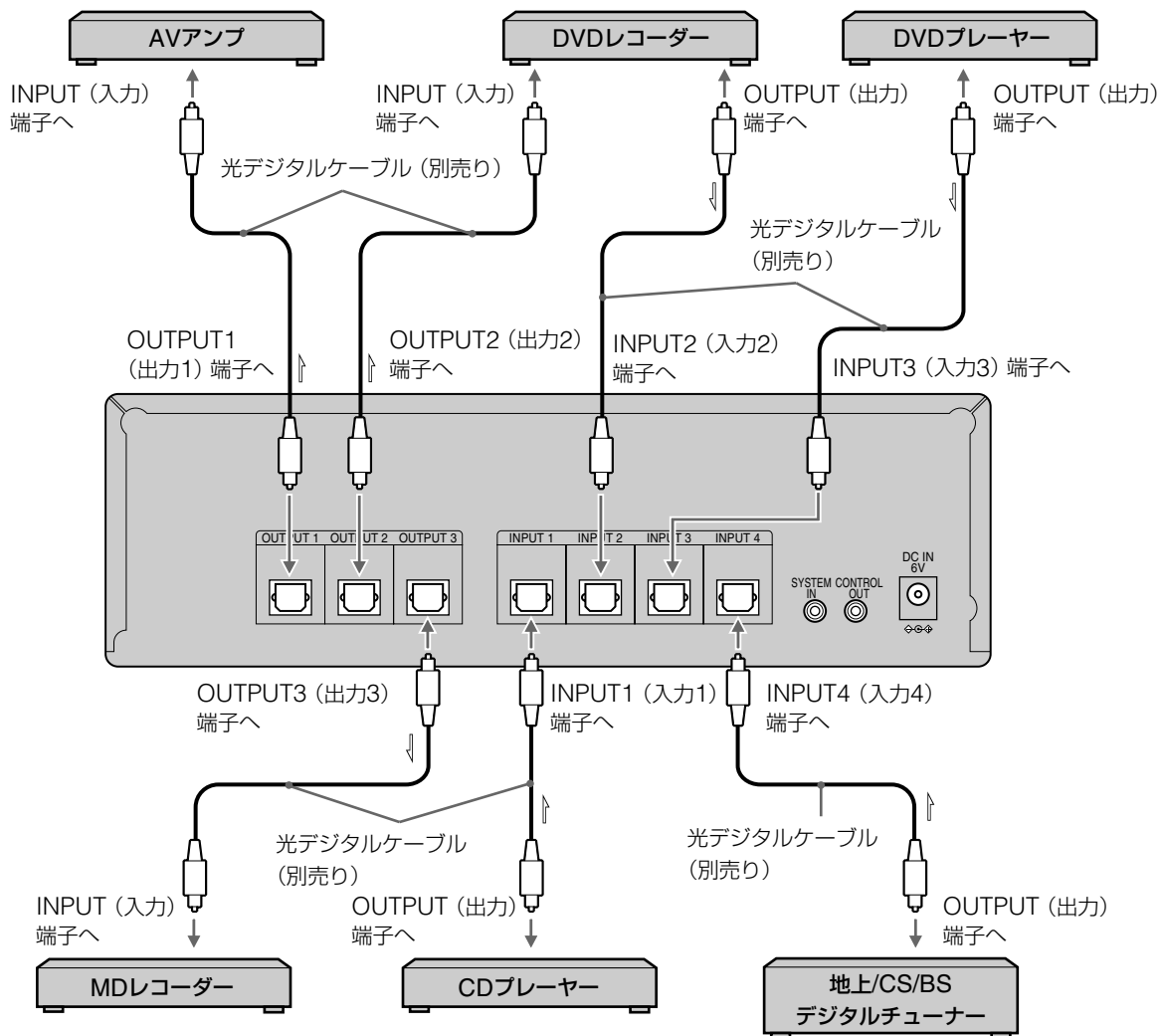
接続例　SB-RX300D

次ページにつづく

ご注意

本機の入力端子には、S-VIDEO入力端子とVIDEO入力端子があります。
S-VIDEO入力端子へ入力した信号はS-VIDEO出力端子へ出力され、VIDEO出力端子へは出力されません。また、VIDEO入力端子へ入力した信号はVIDEO出力端子へ出力され、S-VIDEO出力端子へは出力されません。

どちらにつなぐか迷ったら

よりよい画質でお楽しみいただくために、本機とつなぐ機器にS映像端子があるときは、S映像コード（別売り）を使ってS映像端子につなぐことをお勧めします。

ご注意

本機では、通常のコンポジット信号をY/C分離されたS映像信号に変換したり、S映像信号をY/C合成されたコンポジットビデオ信号に変換して出力することはできません。

ヒント

SB-RX100Pは、SB-RX300DまたはSB-RX200Sと組み合わせて使用すれば、映像機器につなぐことができます。
複数台をつないで使用する方法について詳しくは、「本機を複数台使う」（☞21ページ）をご覧ください。

ループプロテクションの使いかた

ループとは、本機に入力した信号を同じ機器に出力することです。録画中の信号がループすると、映像が乱れたり、つないだ機器の故障の原因となります。
通常は何をつないであるか分りやすくするために、録画用機器を同じ番号のINPUT端子とOUTPUT端子につなぐことをおすすめします。このとき、LOOP PROTECTIONスイッチはONに設定してください。

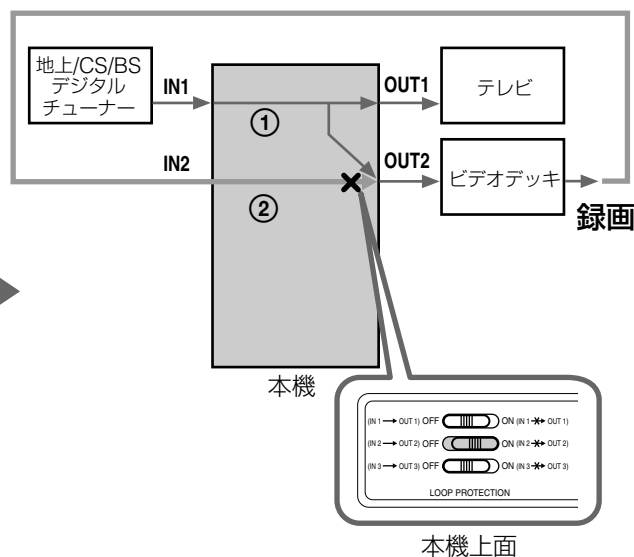
ご注意

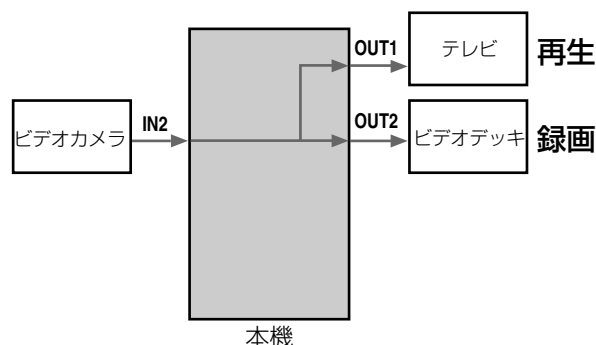
- お買い上げ時は、すべてのLOOP PROTECTIONスイッチがOFFに設定されています。
- 本機を複数台つないで使用するときのループプロテクションについて詳しくは、「複数台使用時のループプロテクション」（☞25ページ）をご覧ください。

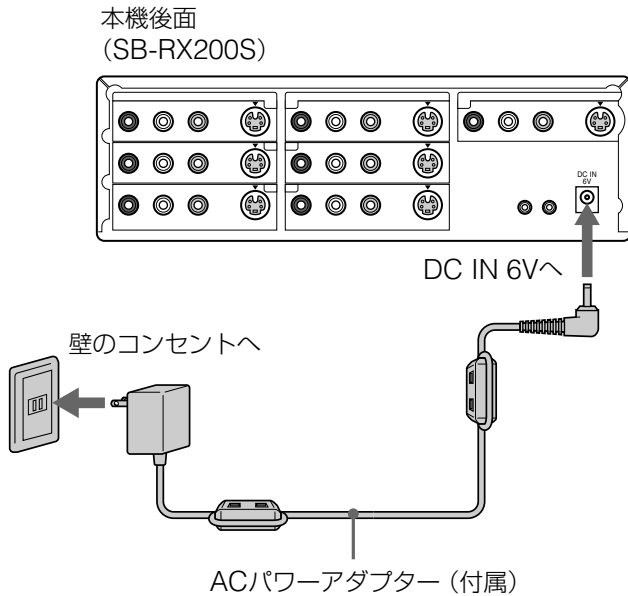
OFF時（INPUTからOUTPUTへ出力する）

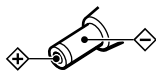
例えば、以下の接続例では、デジタルチューナー（INPUT1）の信号をビデオデッキ（OUTPUT2）に録画しているとき（①）に、誤ってINPUT2の信号をビデオデッキに出力する設定にしてしまうと（②）、映像が乱れたりつないだ機器の故障につながります。

ON時（INPUTからOUTPUTへ出力しない）

このとき、INPUT2とOUTPUT2のLOOP PROTECTIONスイッチをあらかじめONに設定しておけば、録画中のOUTPUT2にINPUT2の映像信号を送るような設定にしてしまった場合でも、ループは抑止されます。

OFFの設定で使用する接続例

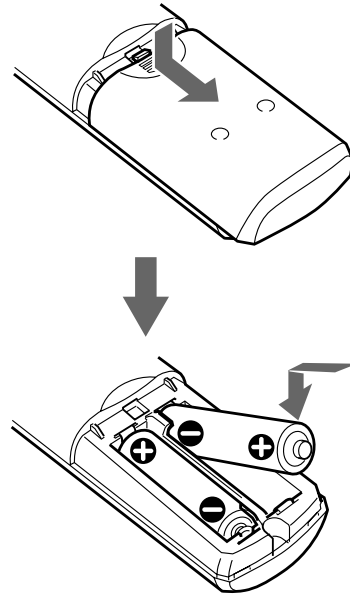
例えば、以下のINPUT2端子とOUTPUT2端子のように、同じ端子番号に異なる機器を接続する場合には、LOOP PROTECTIONスイッチをOFFにします。これで、INPUT2からOUTPUT2に信号が出力されます。

手順2：電源をつなぐ

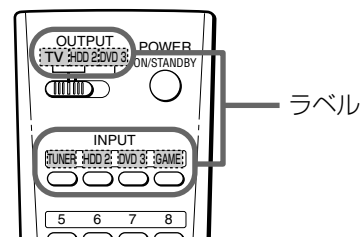
すべての接続が終わったら、付属のACパワーアダプターをつなぎます。

ご注意

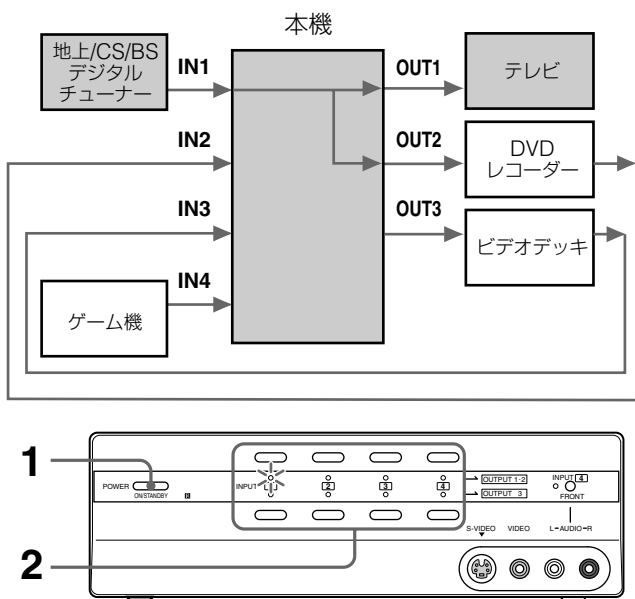
付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。その他のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

極性統一形プラグ

手順3：リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きをリモコンの表示に合わせて単3形（R6）乾電池を2本入れます。
必ず⊖極側から入れるようにしてください。無理に入れたり、⊕と⊖を逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

付属のラベルを使う

ラベルを本機前面やリモコンに貼ります。
INPUT端子やOUTPUT端子に、どの機器がつながっているか一目でわかるので、本機後面を確認する必要がなく便利です。
無地のラベルは、油性のペンで記入してご自由にお使いください。

使う機器を選ぶ

本機のOUTPUT端子につないだ機器に出力する信号を、切り換えます。
ここでは、以下の接続例を使って、デジタルチューナーの入力信号（番組）をテレビに出力するときの操作方法を説明します。

1 使用する機器を準備する。

① 本機のPOWER ON/STANDBYボタンを押して、電源を入れます。
② デジタルチューナーとテレビの電源を入れます。
③ テレビの入力切り換えを、本機に合わせておきます。

2 入力切り換えボタンを押して、OUTPUT1・2端子およびOUTPUT3端子に出力する信号を選ぶ。

ここでは、テレビにデジタルチューナーの信号を出すため、上段（OUTPUT1・2用）の入力切り換えボタンでINPUT1ボタンを押します。
選んだINPUT1の入力切り換えランプが点灯します。

3 手順2で選んだ機器を再生（受信）する。

ここでは、デジタルチューナーでチャンネルを選びます。
これで、選んだチャンネルの映像と音声が、テレビに映るようになります。

ヒント

本機のOUTPUT1端子とOUTPUT2端子からは、同一の信号が出力されます。
上記の例では、デジタルチューナーの信号がテレビとDVDレコーダーに同時に出力されるので、テレビを見ながらDVDレコーダーで録画ができます。

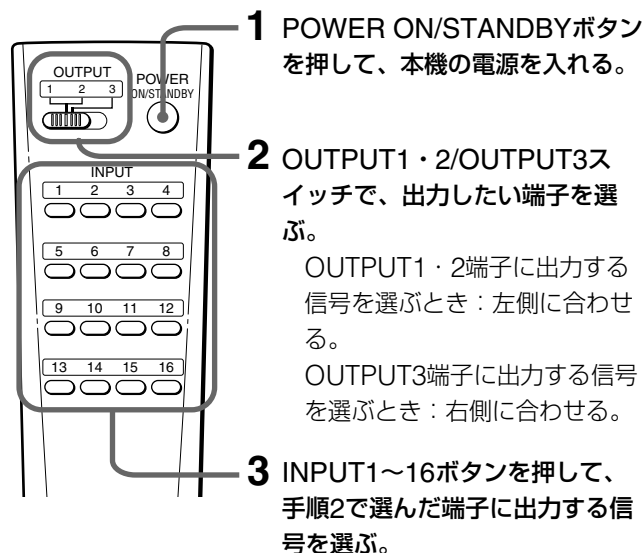
ご注意

- 上記は、SB-RX200Sでの接続例と信号の流れですが、SB-RX300DまたはSB-RX100Pをお使いの場合でも、本機の操作方法は同じです。
- 上記のように、録画機器をINPUTとOUTPUTの同じ端子番号につないだ場合は、LOOP PROTECTIONをONにしてください。（☞16ページ）
- 本機を1台だけで使う場合は、MODE SELECTダイヤルをAに設定してください。
- すでに選ばれている入力信号を選んだ場合、入力切り換えランプが消えてしまいます。そのときは、再度入力切り換えボタン（リモコンではINPUT1～16ボタン）を押して、ランプを点灯させてください。

リモコンで操作する

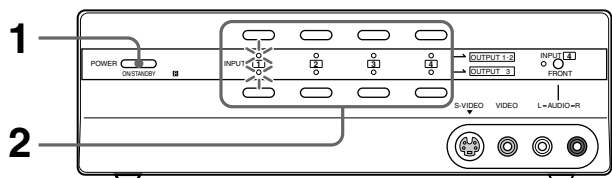
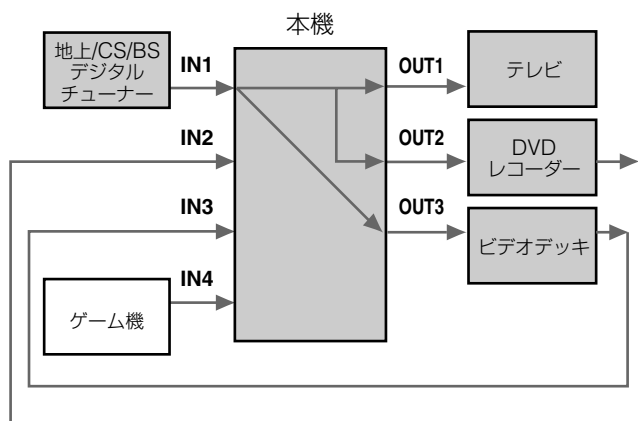
1 POWER ON/STANDBYボタンを押して、本機の電源を入れる。

2 OUTPUT1・2/OUTPUT3スイッチで、出力したい端子を選ぶ。
OUTPUT1・2端子に出力する信号を選ぶとき：左側に合わせる。
OUTPUT3端子に出力する信号を選ぶとき：右側に合わせる。

3 INPUT1～16ボタンを押して、手順2で選んだ端子に出力する信号を選ぶ。

ヒント

本機を複数台つないで使用するときは、1～16の入力切り換えボタンを使って、最大16入力まで直接選ぶことができます。

1つの信号を3台に同時出力する
（マルチ出力）

本機では、１つの機器からの入力信号を、3台の機器に同時に出力することができます。ここでは、以下の接続例を使って、デジタルチューナーの入力信号（番組）をテレビで見ながら、DVDレコーダーとビデオデッキに同時に録画するときの操作方法を説明します。

1 使用する機器を準備する。

① 本機のPOWER ON/STANDBYボタンを押して、電源を入れます。
② デジタルチューナー、テレビ、DVDレコーダーとビデオデッキの電源を入れます。
③ テレビ、DVDレコーダーとビデオデッキの入力切り換えを、本機に合わせておきます。

2 入力切り換えボタンを押して、OUTPUT1・2端子およびOUTPUT3端子に出力する信号をそれぞれ選ぶ。

ここでは、上段（OUTPUT1・2用）のINPUT[1]ボタンと、下段（OUTPUT3用）のINPUT[1]ボタンをそれぞれ押します。
選んだINPUT[1]の入力切り換えランプが点灯します。

3 手順2で選んだ機器を再生（受信）する。

ここでは、デジタルチューナーでチャンネルを選びます。
選んだチャンネルの映像と音声が、OUTPUT端子につないだテレビ、DVDレコーダーとビデオデッキに出力されます。

4 録画を開始する。

ここでは、DVDレコーダーとビデオデッキで録画を開始します。
これで、デジタルチューナーで選んだ映像と音声が録画されます。

ヒント

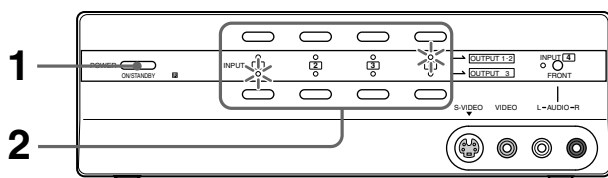
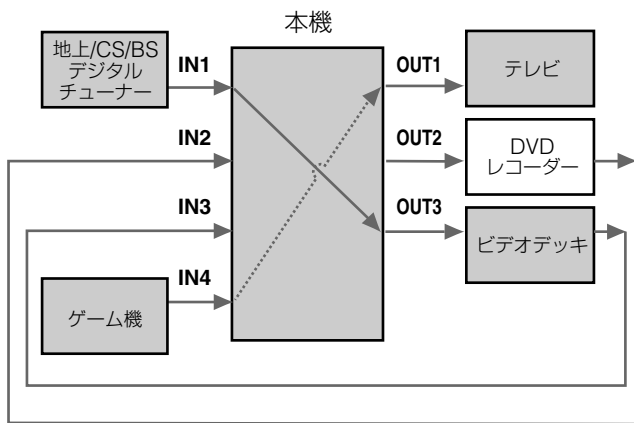
本機のOUTPUT1端子とOUTPUT2端子からは、同一の信号が出力されます。

ご注意

- 上記は、SB-RX200Sでの接続例と信号の流れですが、SB-RX300DまたはSB-RX100Pをお使いの場合でも、本機の操作方法は同じです。
- 上記のように、録画機器をINPUTとOUTPUTの同じ端子番号につないだ場合は、LOOP PROTECTIONをONにしてください。（☞16ページ）
- 本機を1台だけで使う場合は、MODE SELECTダイヤルをAに設定してください。
- すでに選ばれている入力信号を選んだ場合、入力切り換えランプが消えてしまいます。そのときは、再度入力切り換えボタン（リモコンではINPUT1～16ボタン）を押して、ランプを点灯させてください。

2つの信号を別々に同時出力する

（パラレル出力）

本機では、2つの機器からの入力信号を、それぞれ別の機器に同時に出力することができます。ここでは、以下の接続例を使って、ゲーム機の入力信号（映像／音声）をテレビで見ながら、デジタルチューナーの入力信号（番組）をビデオデッキに録画するときの操作方法を説明します。

1 使用する機器を準備する。

① 本機のPOWER ON/STANDBYボタンを押して、電源を入れます。

② デジタルチューナー、テレビ、ビデオデッキとゲーム機の電源を入れます。

③ テレビとビデオデッキの入力切り換えを、本機に合わせておきます。

2 入力切り換えボタンを押して、OUTPUT1・2端子およびOUTPUT3端子に出力する信号をそれぞれ選ぶ。

ここでは、上段（OUTPUT1・2用）のINPUT4ボタンと、下段（OUTPUT3用）のINPUT1ボタンをそれぞれ押します。
選んだINPUT4とINPUT1の入力切り換えランプが点灯します。

3 手順2で選んだ機器を再生（受信）する。

ここでは、デジタルチューナーでチャンネルを選びます。
デジタルチューナーの映像と音声が、OUTPUT3端子につないだビデオデッキに出力されます。また、ゲーム機でゲームを始めます。ゲーム機の映像と音声が、OUTPUT1端子につないだテレビに出力されます。

4 録画を開始する。

ここでは、ビデオデッキで録画を開始します。
これで、デジタルチューナーで選んだ映像と音声が録画されます。

ヒント

本機のOUTPUT1端子とOUTPUT2端子からは、同一の信号が出力されます。

ご注意

- 上記は、SB-RX200Sでの接続例と信号の流れですが、SB-RX300DまたはSB-RX100Pをお使いの場合でも、本機の操作方法は同じです。
- 上記のように、録画機器をINPUTとOUTPUTの同じ端子番号につないだ場合は、LOOP PROTECTIONをONにしてください。（☞16ページ）
- 本機を1台だけで使う場合は、MODE SELECTダイヤルをAに設定してください。
- すでに選ばれている入力信号を選んだ場合、入力切り換えランプが消えてしまいます。そのときは、再度入力切り換えボタン（リモコンではINPUT1〜16ボタン）を押して、ランプを点灯させてください。

本機を複数台で使う前に

本機は、本機どうしを複数台つないで使用することができます。接続構成によっては、最大16入力まで増設できますので、入出力端子の数が足りないときなどにつなぎ合わせてお使いください。

ご注意

本機を複数台つないで使用する場合は、「使用台数ごとの接続構成」（☞26～32ページ）で説明されている接続方法に従って、本機どうしをつないでください。それ以外の接続方法でご使用になると、本機が正しく動作しなかったり、本機や接続機器が故障する原因となります。

ヒント

複数のセレクターをつないで使用する場合でも、1台のリモコンで全セレクターを操作することができます。

複数台使用時の接続構成

複数台つないで使用するときの構成（接続構成）には、大きく分けて「X構成」、「Y構成」、「並列構成」の3種類があります。それぞれの特長や最大入出力数などを以下の表でご確認のうえ、用途に合わせて増設してください。

	X構成	Y構成	並列構成
最大入力数	8	16	16
最終段*1出力数	3	3	—
特長	同一機種間のみ接続可能	同一機種間のみ接続可能	異なる機種（SB-RX300D/SB-RX200S/SB-RX100P）間で組み合わせが可能
	Y構成に比べて、最大入力数が少ない	X構成に比べて最終段*1で選択できる入力信号の数が多い	—
	最終段*1のOUTPUT3端子は、それぞれ独立して、すべての入力信号を選択できる	最終段*1のOUTPUT3端子は、選択できる入力信号に制限がある*2	—
イメージ図（3台接続の場合）	OUT1 OUT2 OUT3 OUTPUT1・2端子：すべての▷から選択可能 OUTPUT3端子：すべての▷から選択可能	OUT1 OUT2 OUT3 OUTPUT1・2端子：すべての▷から選択可能 OUTPUT3端子：◇からのみ選択可能*2	OUT1 OUT2 OUT3 すべての▷から選択可能 OUT1 OUT2 OUT3 すべての▷から選択可能 OUT1 OUT2 OUT3 すべての▶から選択可能
参照ページ	2台使用時：☞26ページ 3台使用時：☞28ページ	2台使用時：☞27ページ 3台使用時：☞28ページ 4台使用時：☞30ページ 5台使用時：☞32ページ	2台使用時：☞27ページ 3台使用時：☞29ページ 4台使用時：☞31ページ

*1 最終的な出力を担うセレクターを指します。

*2 接続するセレクターの台数によって、OUTPUT3端子で選べる入力信号の数は変わります。

本機どうしをつなぐ

ご注意
- 本機を複数台つないで使用する場合は、「使用台数ごとの接続構成」（☞26～32ページ）で説明されている接続方法に従って、本機どうしをつないでください。それ以外の接続方法でご使用になると、本機が正しく動作しなかったり、本機や接続機器が故障する原因となります。
- すべての接続が終わってから、ACパワーアダプターをつないでください。

本機を複数台で使うときは、以下の手順で本機どうしをつなぎ、モードを設定してください。

1 （X構成、Y構成のみ）接続構成に応じて、本機どうしを別売りの音声・映像コードまたはケーブルでつなぐ。

「使用台数ごとの接続構成」（☞26～32ページ）

2 本機どうしを付属のシステムコントロールケーブルでつなぐ。

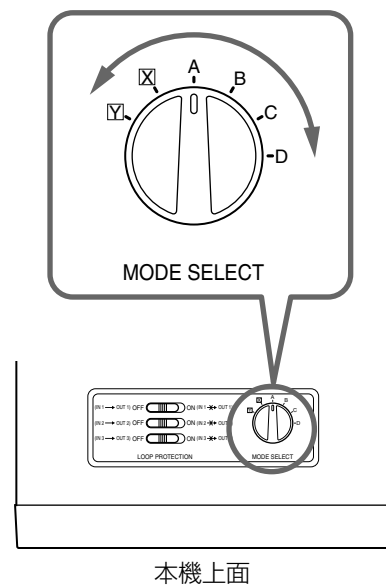
一方のセレクターのSYSTEM CONTROL OUT端子と、もう一方のセレクターのSYSTEM CONTROL IN端子をつなぎます。
同様に、すべてのセレクターのSYSTEM CONTROL OUT端子と、SYSTEM CONTROL IN端子をつないでいき、全体が輪になるようにします。

「システムコントロールケーブルのつなぎかた」（☞23ページ）

3 各セレクターのモードを設定する。

接続構成に応じて、本機上面のMODE SELECTダイヤルで、モードを設定します。

「モード設定」（☞24ページ）

本機上面

ご注意
- 各セレクターのモードをどのように設定するかは、接続の構成によって異なります。詳しくは、実際にお使いになる接続構成の説明（☞26～32ページ）をご覧ください。
- リモコンでモード設定はできません。

システムコントロールケーブルのつなぎかた

システムコントロール信号がすべてのセレクターに行き渡るよう、各セレクターをつなぎます。
これにより、複数台のセレクターがひとつのシステムとして連動して動作します。
例えば、3台接続構成の場合、以下のようにシステムコントロールケーブルをつなぎます。

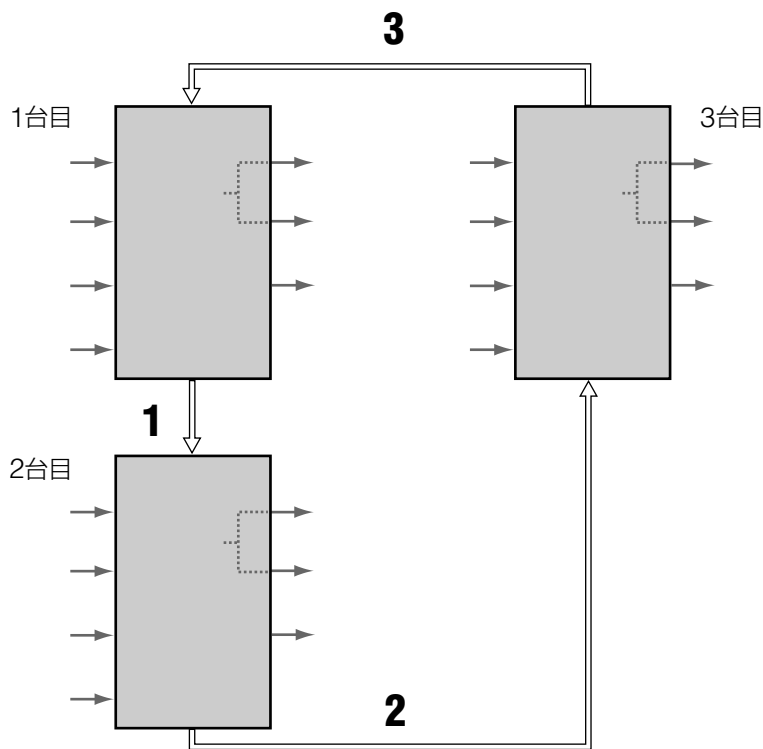
1 1台目のセレクターのSYSTEM CONTROL OUT端子と、2台目のセレクターのSYSTEM CONTROL IN端子をつなぐ。
2 2台目のセレクターのSYSTEM CONTROL OUT端子と、3台目のセレクターのSYSTEM CONTROL IN端子をつなぐ。
3 3台目のセレクターのSYSTEM CONTROL OUT端子と、1台目のセレクターのSYSTEM CONTROL IN端子をつなぐ。

ご注意
本機を複数台つないで使用する場合は、「使用台数ごとの接続構成」（☞26〜32ページ）で説明されている接続方法に従って、本機どうしをつないでください。それ以外の接続方法でご使用になると、本機が正しく動作しなかったり、本機や接続機器が故障する原因となります。

ヒント
- システムコントロールケーブルのつなぎかたは、お使いの接続構成（X、Y、並列構成）やセレクターのモード設定（A〜D、X、Y）には依存しません。セレクター全体が輪になるようにつないでください。
- システムコントロールケーブルでつないだ複数台のセレクターのうち1台のセレクターがリモコン信号を受信できれば、他のセレクターにも信号が行き渡ります。

例）

本機を複数台使う

次ページにつづく

モード設定

本機を複数台つないで使うときは、各セレクターのモード設定をしてください。
これにより、各セレクターの役割が指定され、全体がひとつのシステムとして希望の接続構成で動作するようになります。
各セレクターのモードをどのように設定するかは、接続構成によって異なりますので、「使用台数ごとの接続構成」（☞26～32ページ）を参照して正しく設定してください。

ご注意

本機を複数台つないで使用する場合は、「使用台数ごとの接続構成」（☞26～32ページ）で説明されている接続方法に従って、本機どうしをつないでください。それ以外の接続方法でご使用になると、本機が正しく動作しなかったり、本機や接続機器が故障する原因となります。

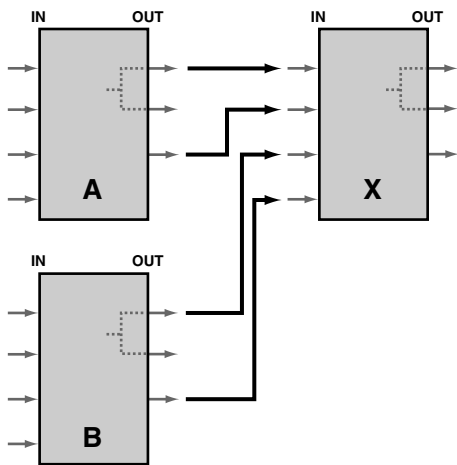
ヒント

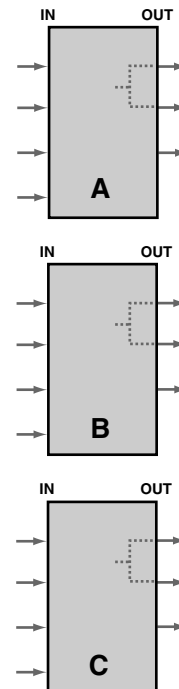
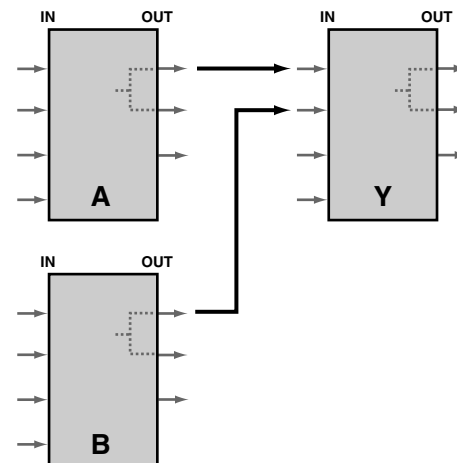
本機を1台だけで使うときは、モードをAに設定してください。

例）本機を3台つないで使うときのモード設定

X構成

出力側セレクターのモード：**X**に設定
入力側セレクターのモード：**A**、**B**を順に設定

Y構成

出力側セレクターのモード：**Y**に設定
入力側セレクターのモード：**A**、**B**を順に設定

並列構成

それぞれのセレクターを**A**、**B**、**C**の順に設定

複数台使用時のループプロテクション

本機を複数台つないでX構成またはY構成で使用する場合、モードAに設定したセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチのみが有効になります。それ以外のセレクター（モードB～D、X、Y）のLOOP PROTECTIONスイッチは働きません。これは、つないでいるセレクターが、「全体で1台のセレクター」として動作するためです。

ご注意

接続構成とループプロテクションの関係について詳しくは、実際にお使いになる接続構成の説明（☞26～32ページ）をご覧ください。

ヒント

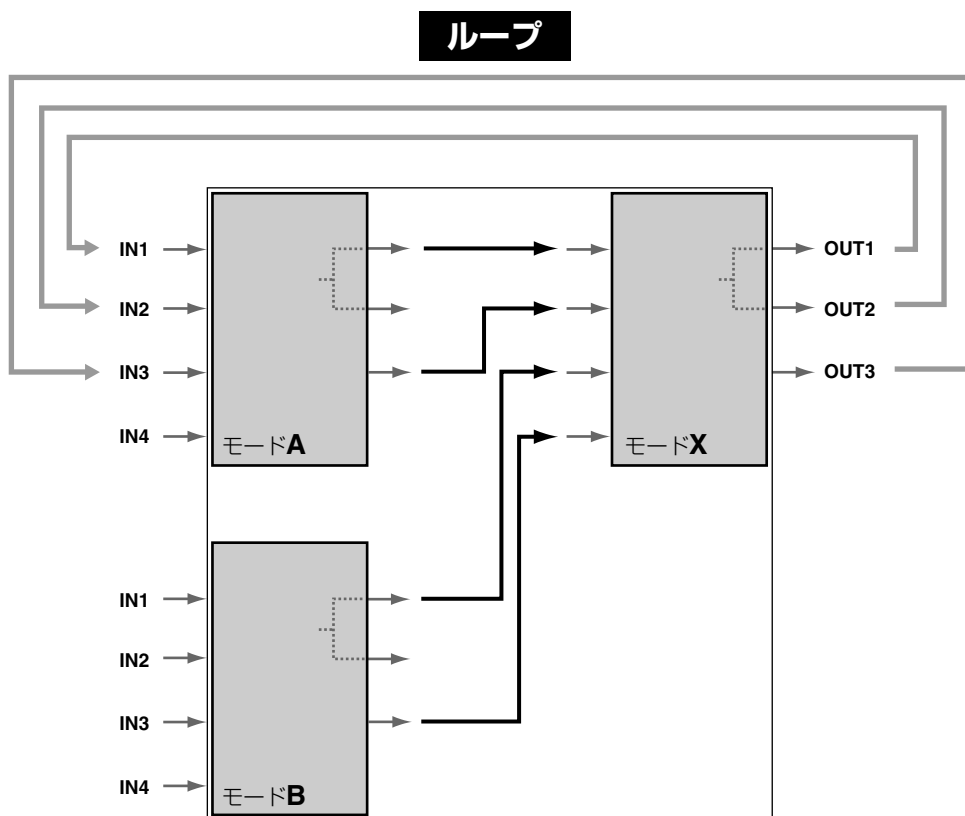
- 並列構成で使用する場合は、各セレクターのLOOP PROTECTIONスイッチがそれぞれ有効になります。
- ループプロテクションについて詳しくは、「ループプロテクションの使いかた」（☞16ページ）をご覧ください。

例）3台使用時のX構成のループ

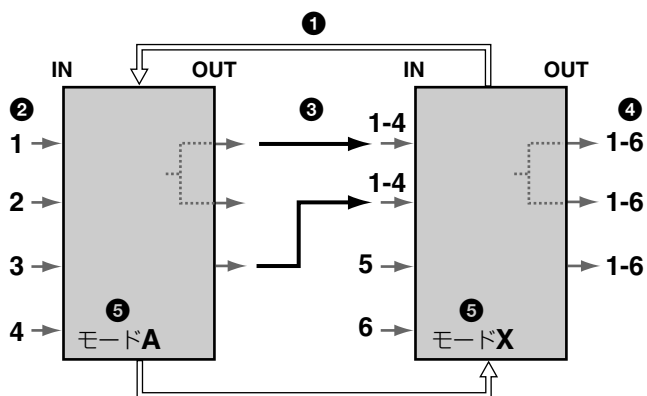
- モードAのセレクターのINPUT1端子と、モードXのセレクターのOUTPUT1端子
- モードAのセレクターのINPUT2端子と、モードXのセレクターのOUTPUT2端子
- モードAのセレクターのINPUT3端子と、モードXのセレクターのOUTPUT3端子

ループを防ぐためには、モードAのセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチをONにしてください。

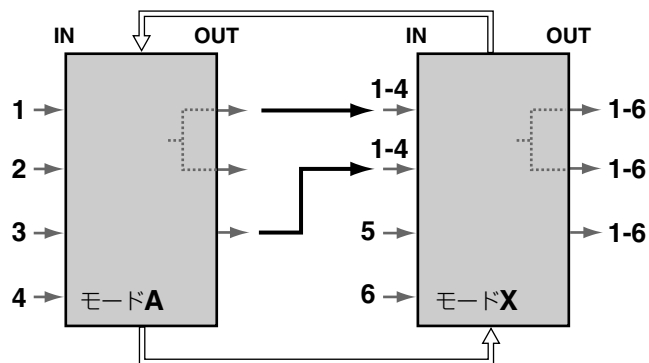
本機を複数台使う

次ページにつづく

使用台数ごとの接続構成

本機を複数台つないで使用する場合の接続構成を、使用台数ごとに説明します。
ここで説明している以外の接続方法でご使用になると、本機が正しく動作しなかったり、本機や接続機器が故障する原因となります。

接続構成のイラストの見かた

- ❶ システムコントロール信号の循環
- ❷ その接続構成での入力信号の番号
  リモコンでは、入力切り換えボタンの番号
- ❸ その接続構成で必要な音声・映像コード／ケーブルの接続
- ❹ 各出力端子に出力できる入力信号の範囲
- ❺ 各セレクターのモード設定

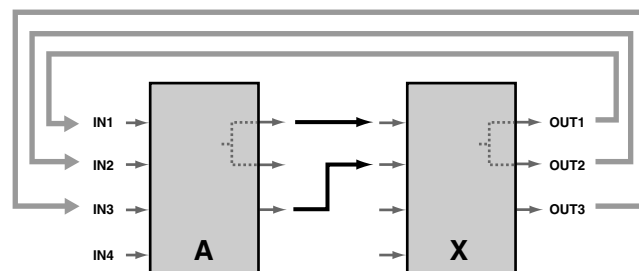
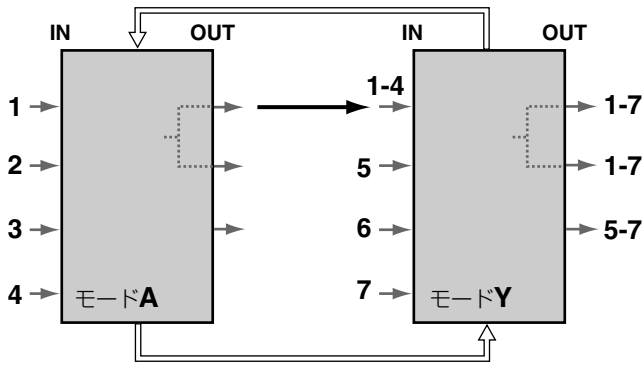
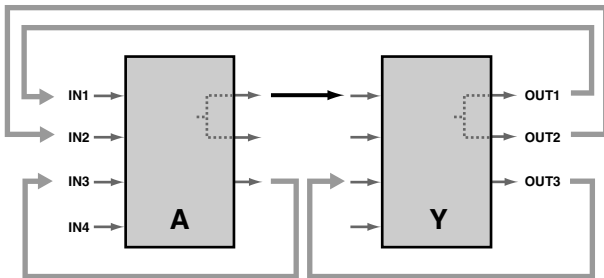
本機を2台使う場合

X構成

1 モードAのセレクターのOUTPUT1端子と、モードXのセレクターのINPUT1端子をつなぐ。
2 モードAのセレクターのOUTPUT3端子と、モードXのセレクターのINPUT2端子をつなぐ。
3 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

この接続構成では、以下の入出力端子間がループになります。

モードAのセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチをONにすると、上記の入出力端子間で信号が抑止されます。（モードA以外のセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチは、働きません。）

Y構成

1 モードAのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT1端子をつなぐ。
2 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

この接続構成では、以下の入出力端子間がループになります。

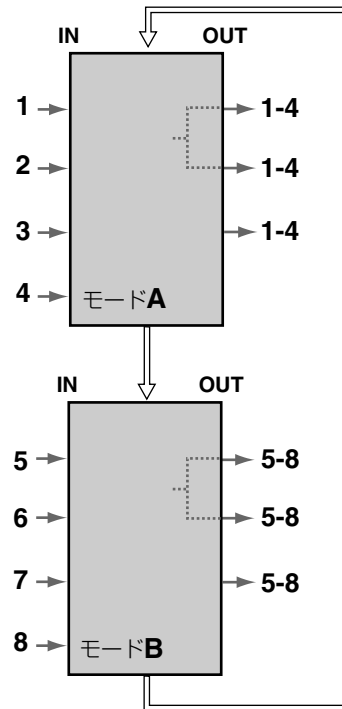
モードAのセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチをONにすると、上記の入出力端子間で信号が抑止されます。（モードA以外のセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチは、働きません。）

並列構成

1 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

この接続構成では、各セレクターの同じ番号の入出力端子間（モードAのセレクターのINPUT1端子とOUTPUT1端子、モードBのセレクターのINPUT1端子とOUTPUT1端子など）がループになります。
LOOP PROTECTIONスイッチは、各セレクターでの設定がそれぞれ有効になります。

次ページにつづく

本機を3台使う場合

X構成

1 モードAのセレクターのOUTPUT1端子と、モードXのセレクターのINPUT1端子をつなぐ。
2 モードAのセレクターのOUTPUT3端子と、モードXのセレクターのINPUT2端子をつなぐ。
3 モードBのセレクターのOUTPUT1端子と、モードXのセレクターのINPUT3端子をつなぐ。
4 モードBのセレクターのOUTPUT3端子と、モードXのセレクターのINPUT4端子をつなぐ。
5 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

この接続構成では、以下の入出力端子間がループになります。

モードAのセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチをONにすると、上記の入出力端子間で信号が抑止されます。（モードA以外のセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチは、働きません。）

Y構成

1 モードAのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT1端子をつなぐ。
2 モードBのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT2端子をつなぐ。
3 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

この接続構成では、以下の入出力端子間がループになります。

モードAのセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチをONにすると、上記の入出力端子間で信号が抑止されます。（モードA以外のセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチは、働きません。）

並列構成

1 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

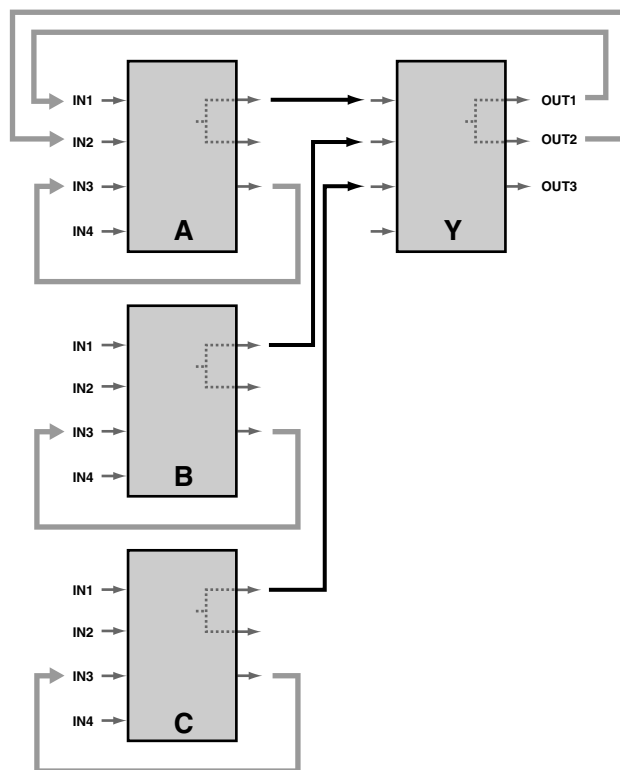
この接続構成では、各セレクターの同じ番号の入出力端子間（モードAのセレクターのINPUT1端子とOUTPUT1端子、モードBのセレクターのINPUT1端子とOUTPUT1端子など）がループになります。
LOOP PROTECTIONスイッチは、各セレクターでの設定がそれぞれ有効になります。

本機を複数台使う

次ページにつづく

本機を4台使う場合

Y構成

1 モードAのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT1端子をつなぐ。
2 モードBのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT2端子をつなぐ。
3 モードCのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT3端子をつなぐ。
4 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

この接続構成では、以下の入出力端子間がループになります。

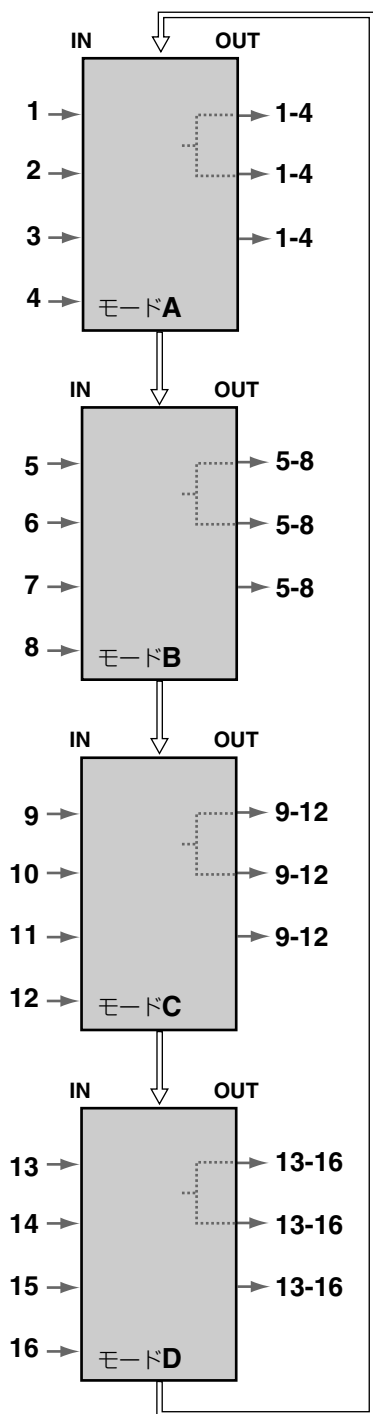
モードAのセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチをONにすると、上記の入出力端子間で信号が抑止されます。（モードA以外のセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチは、働きません。）

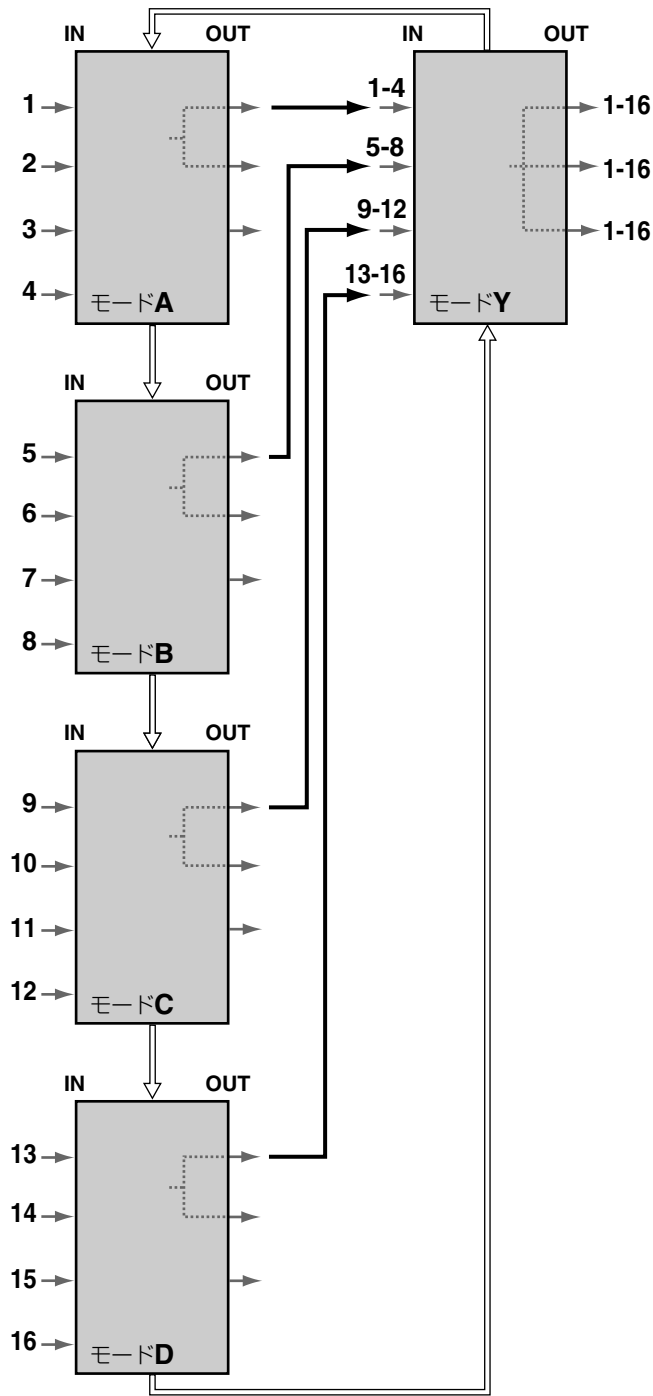
並列構成

1 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

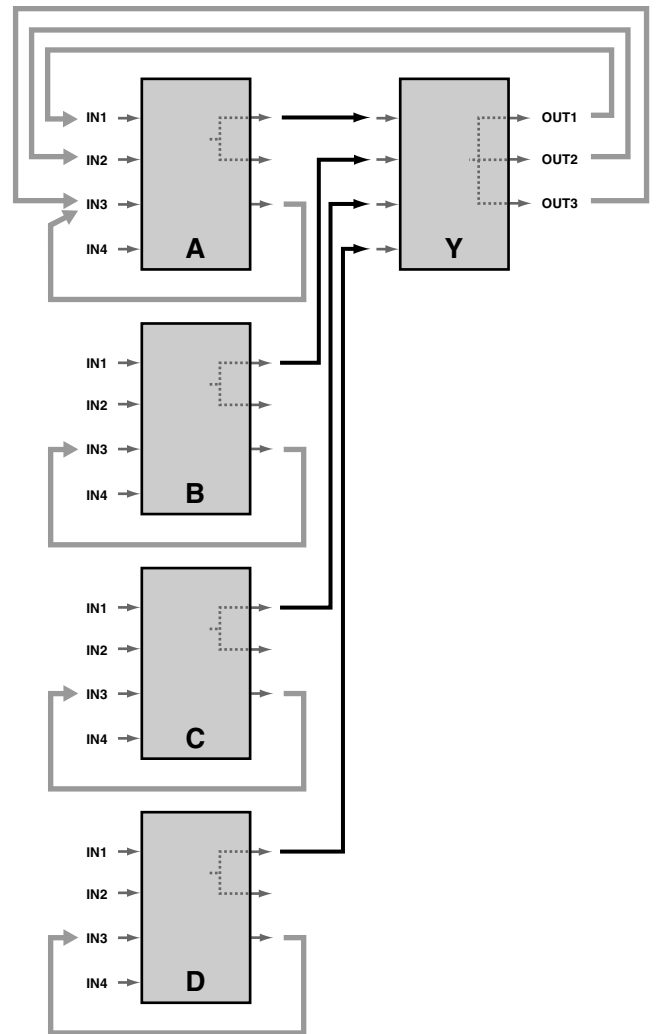
この接続構成では、各セレクターの同じ番号の入出力端子間（モードAのセレクターのINPUT1端子とOUTPUT1端子、モードBのセレクターのINPUT1端子とOUTPUT1端子など）がループになります。
LOOP PROTECTIONスイッチは、各セレクターでの設定がそれぞれ有効になります。

次ページにつづく

本機を5台使う場合

Y構成

最終段のセレクターのOUTPUT1・2端子とOUTPUT3端子からは同一の信号が出力されます。

1 モードAのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT1端子をつなぐ。
2 モードBのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT2端子をつなぐ。
3 モードCのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT3端子をつなぐ。
4 モードDのセレクターのOUTPUT1端子と、モードYのセレクターのINPUT4端子をつなぐ。
5 システムコントロールケーブルをつなぐ。

この構成でのループ

この接続構成では、以下の入出力端子間がループになります。

モードAのセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチをONにすると、上記の入出力端子間で信号が抑止されます。（モードA以外のセレクターのLOOP PROTECTIONスイッチは、働きません。）

こんな使いかたもできます

本シリーズは、端子種の異なる機器どうしを組み合わせて、同一系統入力や同一系統出力として動作させることができます。そのため、リモコンを使えば、異なるセレクターにつないである映像信号と音声信号をワンプッシュで同時に切り換えることができます。
以下は、D端子映像信号（SB-RX300D）と光デジタル音声信号（SB-RX100P）の組み合わせを同時に切り換えることができるようにする場合を例として説明しています。

接続例における接続と操作のしかた

1 同一系統として動作させたい入力端子どうしを同じ入力番号になるようつなぐ。
この例では、D端子映像と光デジタル音声の信号を同一系統として動作させるため、D端子映像はSB-RX300DのINPUT2端子へ、光デジタル音声はSB-RX100PのINPUT2端子へつなぎます。

2 同一系統として動作させたい出力端子を同じ番号の出力端子につなぐ。
この例では、同時に使用したい出力機器がテレビとデジタルサラウンドヘッドホンシステムとして、同一番号のOUTPUT端子につなぎます。

3 MODE SELECTダイヤルを両セレクターともに、Aに合わせる。

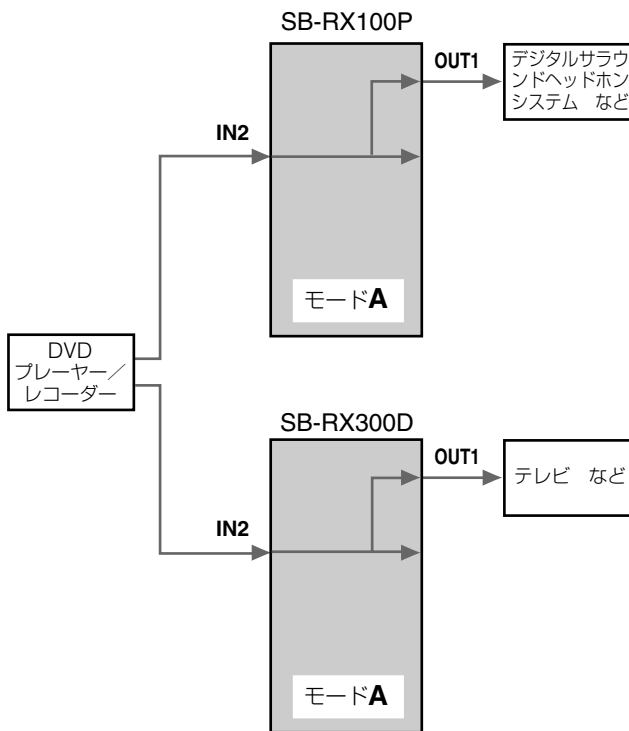
4 各機器の電源を入れる。

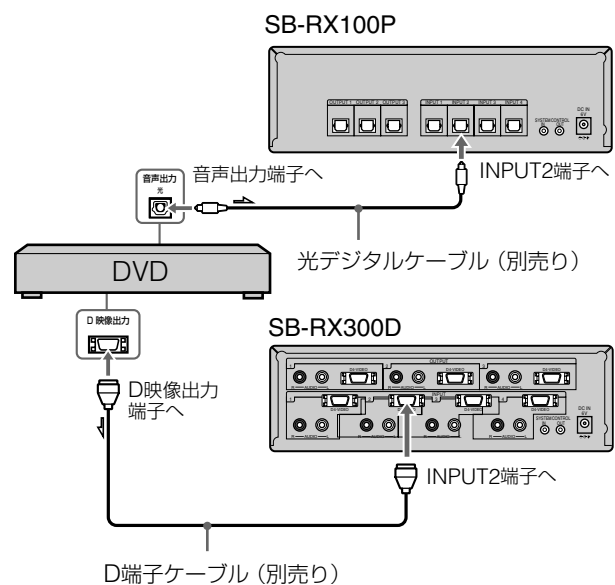
5 リモコンの出力切り換えスイッチをOUTPUT1・2側に切り換える。

6 リモコンの入力切り換えボタンで、出力したい機器の番号を選ぶ。
ここでは、DVDがつながっている2を押します。
これで、テレビとデジタルサラウンドヘッドホンシステムに、DVDの映像と音声がそれぞれ出力されます。

接続例）D端子映像信号と光デジタル音声信号の組み合わせを同時に切り換えたい場合

信号の流れ

SB-RX100P
音声出力端子へ
INPUT2端子へ
光デジタルケーブル（別売り）
DVD
SB-RX300D
D映像出力端子へ
INPUT2端子へ
D端子ケーブル（別売り）

ご注意

この接続例では、SB-RX300DとSB-RX100Pをシステムコントロールケーブルでつながないでください。「同じモードに設定した複数台のセレクター」をシステムコントロールケーブルでつないで使用すると、正しく動作しません。

ヒント

- SB-RX100Pの光デジタル端子では、より高品質なステレオ音声やマルチチャンネルのサラウンドをお楽しみいただけます。
- 上記の2機種をシステムコントロールケーブルでつなぎ「並列構成」として使う場合は、モードをAとBに設定して、リモコンの入力切り換えボタンで2と6を順に選びます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しない時は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

症状	原因と対処
電源が入らない	• ACパワーアダプターがコンセントからはずれているか、ACパワーアダプターのプラグがセレクターの電源入力端子から抜けている。 → ACパワーアダプターをコンセントに正しく差し込み、ACパワーアダプターのプラグをセレクターの電源入力端子にしっかりつないでください。（☞17ページ）
正しく動作しない	• モード設定が正しく選ばれていない（セレクターを複数台使用時）。 → 本体のMODE SELECTダイヤルで正しいモードを選んでください。（☞24ページ） • システムコントロールケーブルが正しくつながっていない（セレクターを複数台使用時）。 → 接続をもう一度点検し、システムコントロールケーブルを正しく接続してください。（☞23ページ）
見たい映像が見られない	• セレクターのINPUT1～4端子にビデオデッキなどの出力機器が正しくつながっていない。 → 接続をもう一度点検してください。（☞13～15ページ） • LOOP PROTECTIONスイッチがONになっているため、INPUT1～3端子と同じ番号のOUTPUT端子には信号が出力されない。 → LOOP PROTECTIONスイッチをOFFにしてください。（☞16ページ） • 本機のテレビやモニターのOUTPUT端子とテレビやモニターの入力端子が正しくつながっていない。 → 接続をもう一度点検してください。 • 入力切り換えのあるテレビやモニターの場合は、入力が正しく選ばれていない。 → テレビやモニターの入力切り換えを正しく選んでください。

見たい映像が見られない	● 入力切り換えボタンが正しく選ばれていない。 → ランプが消えているときは、入力切り換えボタンが選ばれていません。またランプが点灯していても、機器が端子に正しくつながっていないと動作しません。接続状態を確認して、正しい入力切り換えボタンを選んでください。 ● 選んだ端子に別の機器がつながっている。 → 接続を点検して、意図する接続になるようにつないでください。または、入力切り換えボタンで使用したい機器を選び直してください。
録画中に映像が乱れる、音声が大きくなる	● 信号がループしている。 → 接続を確認して、LOOP PROTECTIONスイッチをONにしてください。(☞16ページ)
録画したはずのテープに録画、録音されていない	● 再生ソフトがコピーガードされている。 → ソフトや番組によっては、コピー防止信号が入っているものがあり、それらをビデオデッキなどで録画すると、コピーガードシステムにより正常に録画できません。 ● 再生用または録画用ビデオデッキがINPUT/OUTPUT端子に正しくつながっていないか、入力切り換えボタンが正しく選ばれていない。 → 接続をもう一度点検し、入力切り換えボタンを正しく選んでください。(☞18～20ページ) ● 録画先ビデオデッキの入力切り換えスイッチが正しく選ばれていない。 → 録画先ビデオデッキに付属の取扱説明書をご覧の上、入力切り換えスイッチを本機とつながっている入力端子に切り換えてください。 ● 録画先ビデオデッキがS映像端子付きの場合、映像の入力切り換えスイッチの“S入力信号”と“ビデオ入力信号”が正しく設定されていない。(SB-RX200Sのみ) → 録画先ビデオデッキに付属の取扱説明書をご覧の上、映像切り換えスイッチを正しく合せてください。
D端子付きテレビに映像が映らない(SB-RX300Dのみ)	● D端子付きのテレビの接続や設定を間違えている。 → もう一度、テレビに付属の取扱説明書を見ながらテレビ側の設定とD端子の接続を確かめてください。

次ページにつづく

リモコン操作ができない	● リモコンの乾電池が消耗している。 → リモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に交換してください。 ● 乾電池の極性（⊕と⊖）を間違えて入れている。 → 極性を確かめて、正しく入れ直してください。（☞17ページ） ● 障害物、角度などで赤外線が届いていない。 → リモコンの赤外線の信号は、正面から約7 mの距離まで届きます。信号が届く範囲内で試してみてください。（☞11ページ） ● システムコントロールケーブルが正しく接続されていない（セレクターを複数台使用時）。 → 接続をもう一度点検し、システムコントロールケーブルを正しく接続してください。（☞23ページ） ● モード設定が正しく選ばれていない（セレクターを複数台使用時）。 → 本体のMODE SELECTダイヤルで正しいモードを選んでください。（☞24ページ）
S映像端子からの入力信号を映像出力端子から録画することができない **映像端子からの入力信号をS映像出力信号から録画することができない（SB-RX200Sのみ）**	● 入力端子と出力端子の種類が異なる。 → 本機には、Y/C信号の分離・合成の機能はありません。信号を入力する端子と同じ種類の出力端子を使用してください。
すべてのランプが点滅している	● システムコントロールケーブルが正しく接続されていない。 ● MODE SELECTダイヤルが正しく設定されていない。 ● ACパワーアダプターが抜けている。 → 原因と考えられる上記の3箇所を点検して、正しく接続・設定してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、AVセレクターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：SB-RX300D/SB-RX200S/SB-RX100P

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

主な仕様

入出力端子

SB-RX300D

D映像入力　D端子×4系統
Y：1.0 Vp-p、75 Ω
P_B/C_B：0.7 Vp-p、75 Ω
P_R/C_R：0.7 Vp-p、75 Ω

D映像出力　D端子×3系統（出力1、2は同じ信号）
Y：1.0 Vp-p、75 Ω
P_B/C_B：0.7 Vp-p、75 Ω
P_R/C_R：0.7 Vp-p、75 Ω
S/N：45 dB以上

音声入力　ピンジャック×4系統
信号基準入力：–10 dB
信号許容入力：2.0 V RMS
入力インピーダンス：47 kΩ以上

音声出力　ピンジャック×3系統（出力1、2は同じ信号）
出力インピーダンス：1 kΩ以下
電圧利得：0 dB
S/N：55 dB以上
セパレーション：55 dB以上
クロストーク：55 dB以上

SB-RX200S

S映像入力　4ピンミニDIN×5系統
（INPUT4は、前／後面切り換え）
Y：1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
C：0.286 Vp-p、75 Ω
S1/S2自動検出
YC分離・合成なし

S映像出力　4ピンミニDIN×3系統（出力1、2は同じ信号）
Y：1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
C：0.286 Vp-p、75 Ω
S1/S2自動検出
YC分離・合成なし

映像入力　ピンジャック×5系統
（INPUT4は、前／後面切り換え）
1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負

映像出力　ピンジャック×3系統（出力1、2は同じ信号）
1.0 Vp-p、75 Ω、不平衡、同期負
S/N：45 dB以上

音声入力	ピンジャック×5系統 （INPUT 4は、前／後面切り換え） 信号基準入力：–10 dB 信号許容入力：2.0 V RMS 入力インピーダンス：47 kΩ以上
音声出力	ピンジャック×3系統（出力1、2は同じ信号） 出力インピーダンス：1 kΩ以下 電圧利得：0 dB S/N：55 dB以上 セパレーション：55 dB以上 クロストーク：55 dB以上

SB-RX100P

入力	光角型端子×4系統
出力	光角型端子×3系統（出力1、2は同じ信号）
ピーク発光波長	660nm±30nm
ピーク光出力	–15dBm〜–21dBm（基準光ファイバ出力端）

電源部、その他

電源	使用電源：AC 100 V、50 Hz/60 Hz 入力電源：DC 6 V
最大外形寸法	約215×70×180 mm （幅／高さ／奥行き）（突起部、脚部を含む）
重量	約1.5 kg
許容動作温度	0〜40℃
付属品	リモートコマンダー（1） 単3形乾電池（2、リモコン動作確認用） ACパワーアダプター（1） システムコントロールケーブル（1） 取扱説明書（1） ラベル（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）

リモートコマンダー

リモコン方式	赤外線パルス方式
受光角度	±30゜以内
送信距離	5 m（正面：7 m）
電源	単3形乾電池×2
最大外形寸法	約55×32×200 mm （幅／高さ／奥行き）
重量	約90 g（乾電池を含まない）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

CEマークはおもにEEA（European Economic Area）各国など、法律で定められている国においてのみ有効です。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには
➡ AV 関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ
（http://www.sony.co.jp/av-acc）
AVアクセサリー商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAX でのお問い合わせは
➡ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：
- 型名：SB-RX300D/SB-RX200S/SB-RX100P
- 製造（シリアル）番号：本体底面のラベルに記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

接続に関するご質問時
質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China